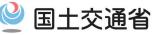
### 飛行検査業務の概要



航空機が出発空港から到着空港まで安全に飛行できるように「航空保安施設が正常に機能しているか」、「無線施設等で構成される航空 路等(計器飛行方式)が安全で適切なものか」など、航空交通の基盤となる施設等の安全性に関して、**飛行検査**及び**飛行検証**を行う業務

### 空の道を示す無線施設等の飛行検査

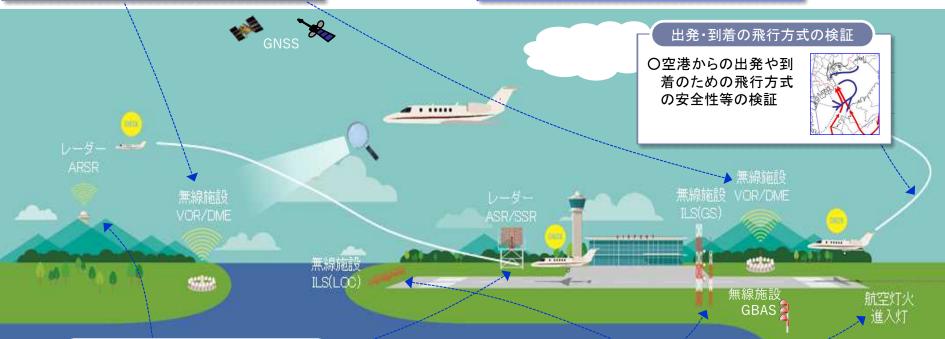
○空の道(航空路など)を示す無 線施設から発せられる電波の 品質などの確認・検査

レーダー









### 管制官が使用する施設の飛行検査

○ 管制官が航空機を誘導するために使用 するレーダーの航空機表示位置の正確 さなどの確認・検査

〇管制官がパイロットと交信するための通 信施設が良好に使える範囲などの確認・ 検査

### 

- ○滑走路に向かって進入中の航空機に対して滑走路までの正確な方向などを示す無線施設(ILS)が正しい信号を航空機に提供しているかの確認・検査
- ○夜間や天候が悪いときにパイロットが滑走路を視認するために必要な航空灯火の明るさなどの確認・検査





### 航空保安施設について

航空保安施設とは、航空機の安全な航行を援助するために設置された無線施設や 灯火のことをいいます。航空保安施設の代表例として、以下のような航空保安施設 があります。



#### ILS ローカライザー

滑走路に進入中の航空機に対 して正しい進入コースからの横 方向のずれを知らせる装置 (ローカライザーのみで構成され る施設はLDAと呼ばれる)



### ILS グライドスロープ

滑走路に進入中の航空機に対 して正しい進入コースからの縦 方向のずれを知らせる装置

### ILS TDME

滑走路に進入中の航空機に対 して着陸地点までの距離を知 らせる装置



#### VOR/DME

飛行中の航空機に対してこの 施設への方位と距離を知らせる 装置







交信音声



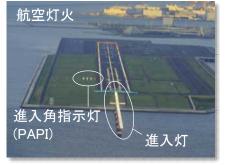
**PAPI** 

高度情報

着陸しようとする航空機に対して、滑走路への進入角度を白 色と赤色の灯光の組合せでパイロットに知らせる灯火(左から 白白赤赤に見えるときが正しい進入角)

#### 進入灯

着陸しようとする航空機に対して、最終進入経路をパイロット に知らせる灯火



II S Instrument Landing System VOR VHF Omnidirectional Radio Range LOC Distance Measuring Equipment Localizer DME GS Glide Slope Air Route Surveillance Radar ARSR

TDME Terminal DME RCAG Remote Center Air-Ground Communication PAPI Precision Approach Path Indicator

## 飛行検査機







	諸	元	
全 長	25.7 m	巡航速度	500 km/h
全 幅	27.4 m	上昇限度	25,000 ft
全 高	7.5 m	航続距離	2,933 km
最大離陸重量	19.0 t	必要滑走路長	1,200m以上
飛行検査システム		ノルウェーNSM社製	
就航年月		平成19年1月	







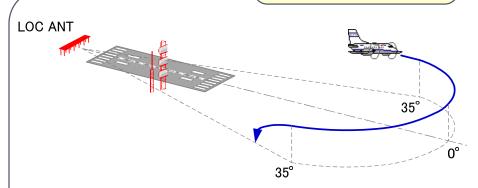
	諸	元	
全 長	16.26 m	巡航速度	835 km/h
全 幅	15.49 m	上昇限度	45,000 ft
全 高	4.67 m	航続距離	3,300 km
最大離陸重量	7.76 t	必要滑走路長	1,200m以上
飛行検査システム		ノルウェーNSM社製	
就航年月		平成27年10月(3機) 平成29年12月(2機)	

平成27年度 ガルフストリームG-IV型機及 びボンバルディアBD700型機 の後継機として3機導入

平成29年度 SAAB2000型機の後継機とし て2機導入

### 飛行検査の飛行例(ILS)

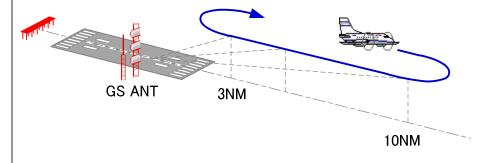
#### 主な飛行形態



### アークフライト

ローカライザーアンテナ(LOC ANT)から一定の距離を保って、滑走路への進入経路を横切る方向に円弧飛行

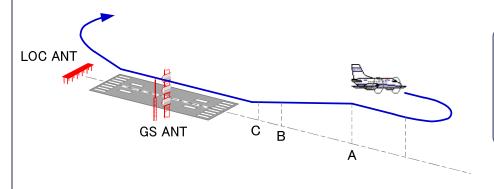
⇒ローカライザーのコース幅 が基準値内にあるか確認。



### レベルラン

滑走路への進入経路を一定 高度で滑走路に向けて飛行

⇒グライドスロープ(GS)の パス幅が基準値内にあるか 確認



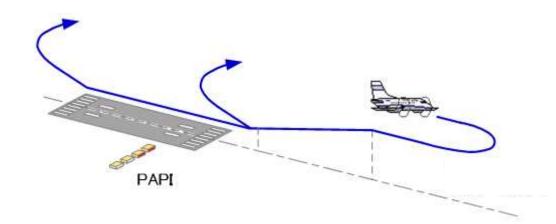
### ローアプローチ

滑走路への進入経路をグライドスロープ(GS)の降下角度で滑走路に向けて進入滑走路上は50~100ftの高さを保ち滑走路端まで飛行

⇒LOCコースやGSパス信号 の誤差、特性等を測定。

### 飛行検査の飛行例(PAPI)

#### 主な飛行形態





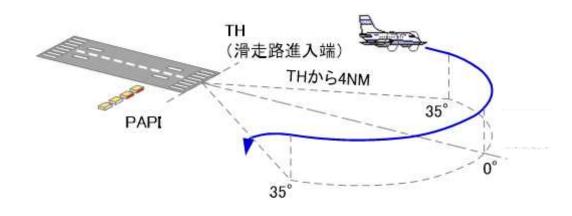
# 色と赤色の灯光の組合せでパイロットに知らせる灯火

### ローアプローチ

滑走路への進入経路をPAPIの設定 角度(通常3°)を上下する形で滑走 路に向けて進入

最後の進入では滑走路灯火を全点 灯し、滑走路終端まで滑走路上を飛 行

⇒各灯器が白から赤又は赤から白に 変化する角度を測定



### アークフライト

滑走路進入端(TH)から4NMの距離を 保って、滑走路への進入経路を横切 る方向に円弧飛行

⇒灯火が視認できる範囲を測定